

令和6年9月27日

5年生保護者様

丹波篠山市立今田小学校

校長 細見 泰弘

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果について【5年】

5年生を対象に4月18日に実施された「丹波篠山市学力・生活状況調査」と5月20日に実施された「丹波篠山市生活習慣状況調査」の結果をまとめました。今回の調査結果をもとに、これまでの指導について振り返り、さらなる学力・生活習慣の向上に取り組めます。今後力を入れることを「重点ポイント」としてまとめました。

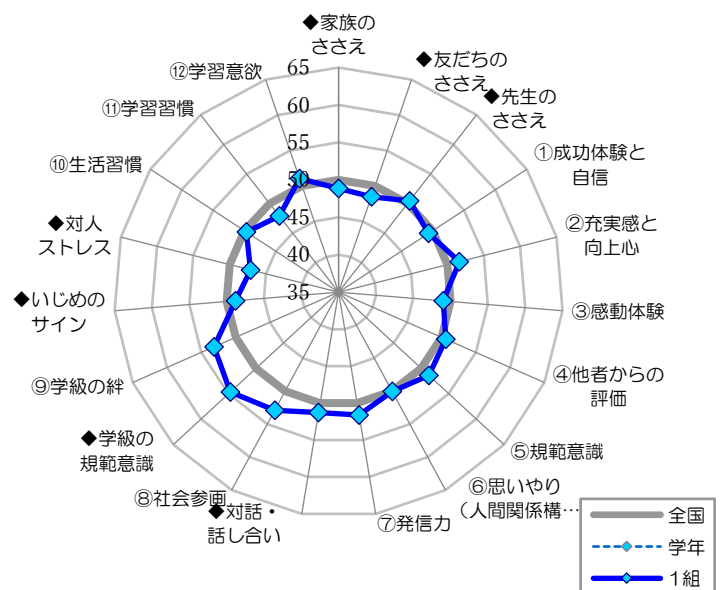
ご家庭でも、よりよい学校生活を送れるようご支援ください。

【生活習慣に関する調査結果の概要】

(生活の様子について質問し、内容項目を18項目に分類してまとめています。)

※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

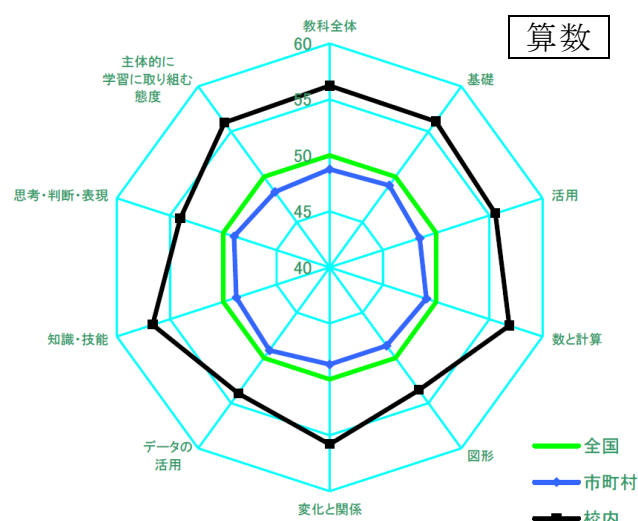
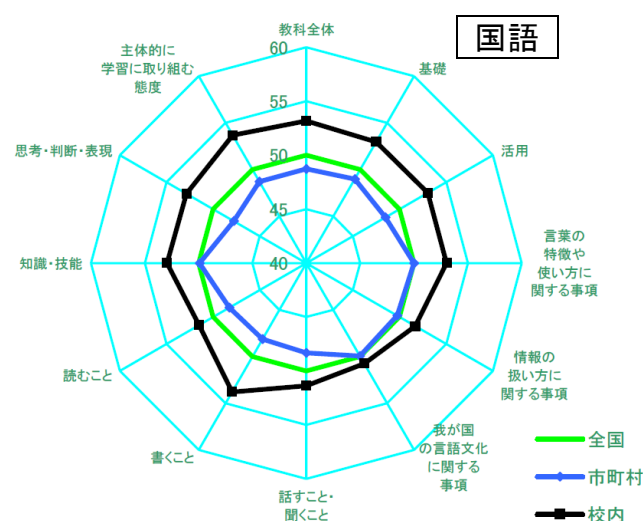
○5年生は、どの項目も全国平均と同程度でした。学年の平均値が最も高い項目は「学級の規範意識」、最も低い項目は「対人ストレス」でした。



重点ポイント

- ・「対人ストレス」は、友達との関係が悪くはない一方で、その関係が変わってしまうことに不安を持っている児童があることから、低めの数値となっています。個々の児童に安心感を与える声かけをするとともに、係活動などを使ってみんなに発信する機会をつくったり、グループ活動を取り入れて友達との関わりをより増やしたりして、安心して過ごせる学級集団づくりに努めます。
- ・話し合いをする際に、自分の意見を自信をもって言えない児童があるなど、発信力にばらつきがあります。小集団で話し合う機会を増やし、自分のことばで発信する機会を増やして、表現意欲を高めます。
- ・子どもたちの生活の様子をしっかりと観察し、気になることがあればすぐに声かけをするなど、心に寄り添った指導をします。

【学力に関する調査結果の概要】



※全国平均を50とし、5%以上で「上回っている」、5%以下で「下回っている」と表しています。

○5年生の国語は、どの項目も全国平均と同程度で、全国平均を下回る項目はありませんでした。

○5年生の算数は、「基礎」「活用」とも全国平均を上回り、全体として上回っています。領域別では「数と計算」「変化と関係」で全国平均を上回りました。全国平均を下回る項目はありませんでした。

重点ポイント：国語

- ・朝学習の時間や宿題を有効活用し、主語・述語・修飾語などの文法に関する学習に取り組めます。
- ・朝の会や終わりの会などを活用して、スピーチ活動に取り組んだり、スピーチの文章や作文を書く際には文章の組み立てを考えたりする時間を取り入れます。
- ・漢字を正しく書くために、作文や自分の考えをノートに書く際、習った漢字をできるだけ使うように指導します。

重点ポイント：算数

- ・「数の相対的な大きさについての理解」に課題が見られました。また、「10億を260こ分集めるといくらかになるか」など、数量関係の理解に苦労している児童もいます。大きな数の概念を正確に理解できるよう、位取り表などのツールを活用するなどして、学習を積み重ねます。
- ・平行四辺形の作図に苦労している児童が多く見られました。三角定規、分度器、コンパス等を使って長さや角度を測ったり、それを描いたり比べたりする操作活動を効果的に取り入れ、経験を通した理解につなげます。また、図形の性質とコンパス等の道具の便利さを授業の中で伝えていきます。